

# 「民族音楽が秘める可能性と未来」

## ー サウンドアーティスト 岡野弘幹氏を招いて ー

世界には、先人たちが遺し、継承してきた素晴らしい音楽が存在します。今、その音楽と文化的背景をリスペクトしながら、「今を生きる我々の音楽」を創造することが求められています。

名古屋芸術大学では、2020年4月に東海地方の芸術系私立大学では初となる「民族音楽」を専門的に学ぶ「ワールドミュージック・カルチャーコース」が誕生します。(※)

ワールドミュージック・カルチャーコースの開設を記念し、世界的に活躍するサウンドアーティストであり、本コース特別客員教授に就任(※)の岡野弘幹氏を招いて、特別公開講座を開催します。

(※) 2019年10月現在予定

日時 ① 2019年11月7日(木) 15:00~18:00 (開場 14:40 予定)

第一部 講演「世界のワールドミュージックの潮流」

第二部 演奏「岡野弘幹氏 コンサート ー北米インディアンの楽器を中心にー」

② 2019年12月5日(木) 15:00~18:00 (開場 14:40 予定)

第一部 講演「ワールドミュージックから見る平和な世界」

第二部 演奏「世界の民族楽器の響き ーアフリカ、中東、アジア、北米、中米などー」

会場 名古屋芸術大学 東キャンパス (愛知県北名古屋市熊之庄古井 281)

2号館 3階 大アンサンブル室

※ 本公開講座は学外・一般の方もご参加頂けます (先着 20名 / 受講無料 / 途中入場可)

※ 会場の収容定員(約 100名)を超過する場合は、本学在学生の受講が優先となります。

※ 公共交通機関のご利用にご協力ください。

(名鉄犬山線「徳重・名古屋芸大駅」から東へ徒歩約 8分)

申込み [専用申込み Web フォーム] <http://bit.ly/okano19>

※ 各開催日の 3 日前まで受付。ただし、定員に達し次第、受付終了。



### 岡野弘幹 (おかのひろき)

音楽家・サウンドアーティスト。1964年生まれ。90年にドイツ IC DIGIT よりワールドデビュー。民族楽器を多彩に扱い、日本的感性で表現したアンビエントミュージックは欧米のメディアでも広く紹介されている。

現在までに発表したソロ、グループのアルバムは、30作以上。国内外の野外フェスにも数多く出演。ライフワークとして世界の聖地、自然遺産、全国の著名社寺などでの演奏活動を継続するかたわら、作曲家として、サウンドアート制作、映画・テレビ番組等への楽曲提供、様々なイベントの音楽監督など、活動は多岐に渡る。近年の活動としては、「大琳派祭」(2015/京都国立博物館)音楽監督と演奏、「第41回全国育樹祭」(2017/香川)メインアトラクションの音楽監督と演奏、2018年全国公開の映画『PEACE NIPPON』の音楽監督。平成 29 年度香川県文化芸術選奨受賞。

2020年4月名古屋芸術大学 ワールドミュージック・カルチャーコース 特別客員教授 就任予定。

